

彦根事業所に新棟「S³-6（エス・キューブ シックス）」が完成 ～水素関連事業の部材製造スペースを拡充～

株式会社SCREENホールディングスはこのほど、彦根事業所の敷地内において2024年2月より進めていた水素関連事業の部材製造スペース、事務所機能等を備えた新棟「S³-6（エス・キューブ シックス）」の建設を終え、操業を開始しました。

S³-6（エス・キューブ シックス）

☆この画像の印刷用データ（解像度300dpi）は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/about/nr-photo_2025)



新棟S³-6は、当社が進めている水素関連のデバイス製造販売拠点として、東京ガス株式会社（本社：東京都港区）と共同開発をしているPEM形水電解用CCM^{*1}の製造ラインに加えて、ENEOS株式会社（本社：東京都千代田区）と共同開発をしているDirect MCH^{*2}用CCM製造ラインを設置。他にもディスプレイ製造装置および成膜装置事業（FT）の実験・部品検査フロアや、半導体製造装置事業（SPE）の事務所機能を備えています。

<新棟の概要>

名 称：「S³-6（エス・キューブ シックス）」（S³はSafety、Smart、Speedの頭文字）
所 在 地：滋賀県彦根市高宮町480-1
建築面積：約5,000平方メートル
延床面積：約17,000平方メートル
構 造：鉄骨造 地上3階建て
総 工 費：約110億円
操業開始：2025年2月
主な業務：水素関連事業の部材の製造、FT事業の実験・部品検査、SPE事務所機能など

■ 過去の関連ニュースリリース

彦根事業所において成長投資を実施

URL：<https://www.screen.co.jp/news/NR230914>

*1 Catalyst Coated Membraneの略、触媒層と電解質で構成された電極膜

*2 Direct MCH[®]はENEOS株式会社の登録商標（登録番号：第6323093号）